

NEC Expressワークステーション
Express5800シリーズ

Express5800/56X1b

ユーザーズガイド

2003年 10月 初版

商標について

EXPRESSBUILDERとESMPROとExpressPicnic、CLUSTERPROは日本電気株式会社の登録商標です。Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Intelは米国Intel Corporationの登録商標です。Xeonは米国Intel Corporationの商標です。ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Adaptecとそのロゴは米国Adaptec, Inc.の登録商標です。SCSI Selectは米国Adaptec, Inc.の商標です。DataLightはDataLight, Inc.の登録商標です。ROM-DOSはDataLight, Inc.の商標です。LSI LogicとMegaRAID、Power Console Plusは米国LSI Logic Corporationの登録商標または商標です。DLTとDLT tapeは米国Quantum Corporationの商標です。Adobe、Adobeロゴ、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の登録商標または商標です。

Symantec Norton Ghost

(c) 1999 Symantec Corporation. All Rights Reserved.

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows Server 2003はMicrosoft® Windows® Server 2003 Standard Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® Server 2003 Enterprise Edition operating systemの略称です。Windows XPはMicrosoft® Windows® XP Professional operating systemの略称です。Windows 2000はMicrosoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Workstation network operating system version 4.0の略称です。Windows MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition Operating Systemの略称です。Windows 98はMicrosoft® Windows®98 operating systemの略称です。Windows 95はMicrosoft® Windows®95 operating systemの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

<本装置の利用目的について>

本製品は、高速処理が可能であるため、高性能コンピュータの平和的利用に関する日本政府の指導対象になっております。

ご使用に際しましては、下記の点につきご注意ください。よろしくお願いいたします。

1. 本製品は不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
2. パスワード等により適切なアクセス管理をお願いいたします。
3. 大量破壊兵器およびミサイルの開発、ならびに製造等に関わる不正なアクセスが行われるおそれがある場合には、事前に弊社相談窓口までご連絡ください。
4. 不正使用が発覚した場合には、速やかに弊社相談窓口までご連絡ください。

弊社相談窓口 ファーストコンタクトセンター
電話番号 03-3455-5800

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると電波妨害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

高調波適合品

本装置は経済産業省通知の家電、汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置(UPS)等を使用されることをお勧めします。

レーザー安全基準について

本装置に標準で搭載されているCD-ROMドライブ、レーザーに関する安全基準(IEC60825-1)クラス1に適合しています。

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、この装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるように、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

使用上のご注意 ~必ずお読みください~


本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。


安全にかかわる表示について

Express5800シリーズを安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。







このユーザーズガイドには装置のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズガイド、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。




 **警告** 指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。

 **注意** 指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (接触禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜け)

(ユーザーズガイドでの表示例)

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
 	指定以外のコンセントに差し込まない 指定された電圧で指定のコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。	 注意

本書、および警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	指などがはさまれるおそれがあることを示します。		レーザー光による失明のおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。		本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
---	-------------------	---	--------------------------------------





行為の強制






	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
---	--	---	--

安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明についてはiiiページの『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項

 警告	
	<p>人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない</p> <p>本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。</p>
	<p>煙や異臭、異音がしたまま使用しない</p> <p>万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。</p>
	<p>針金や金属片を差し込まない</p> <p>通気孔やフロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。</p>

 注意	
 	<p>海外で使用しない</p> <p>本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。</p>
 	<p>装置内に水や異物を入れない</p> <p>装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないでお買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。</p>

電源・電源コードに関する注意事項



警告



ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



注意



指定以外のコンセントに差し込まない

指定された電圧で指定のコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。

また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。



たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。



ケーブル部分を持って引き抜かない

ケーブル部分を抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。



中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



指定以外の電源コードを使わない

本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。

また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次のような行為を行わないでください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードの上にものを載せない。
- 電源コードを束ねたまま使わない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 電源コードをステーブラ等で固定しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

注意



一人で持ち上げない

本装置の質量は約21kgです。一人で持ち上げたりして運ぶと腰を痛めるおそれがあります。装置を運ぶときは二人以上で底面をしっかりと持ってください。



フロントマスクに手をかけて運ばない

本装置を運ぶときはフロントマスクに手をかけて持ち上げないでください。フロントマスクが外れ、装置を落としたり、フロントマスクを壊したりするおそれがあります。



指定以外の場所に設置・保管しない

本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 不安定な場所。

また、スタビライザを閉じたままにしないでください。装置が転倒し、正常に動作しなくなるばかりでなく、けがや周囲の破損の原因となることがあります。



電源コードを接続したままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

本装置内蔵用オプションやインタフェースケーブルなどの取り付け・取り外しは本装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したまま装置内の部品やケーブル、コネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。



また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

警告



自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



CD-ROMドライブの内部をのぞかない

CD-ROMドライブはレーザーを使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります(レーザー光は目に見えません)。



リチウム電池を取り外さない

本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。リチウム電池を取り外さないでください。リチウム電池を火に近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、リチウム電池の寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。



プラグを差したまま取り扱わない

お手入れや本装置内蔵用オプションの取り付け／取り外しは、本装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま装置内の部品に触ると感電するおそれがあります。

また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

注意



高温注意

本装置の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け／取り外しを行ってください。



中途半端に取り付けない

ボードは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けたボードは接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

運用中の注意事項

注意



雷がなったら触らない

雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。



ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。



装置の上にものを載せない

スタビライザで固定していても本装置が倒れて周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。



CD-ROMドライブのトレイを引き出したまま放置しない

引き出したトレイの間からほこりが入り誤動作を起こすおそれがあります。また、トレイにぶつかりけがをするおそれがあります。



ヘッドフォンを耳にあてたまま接続しない

ヘッドフォンを耳にあてたままヘッドフォンジャックに接続しないでください。耳を痛めるおそれがあります。また、接続前にボリュームが大きくなっていないことを確認してください。



近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使わない

本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。



巻き込み注意

本装置の動作中は背面にある冷却用ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。

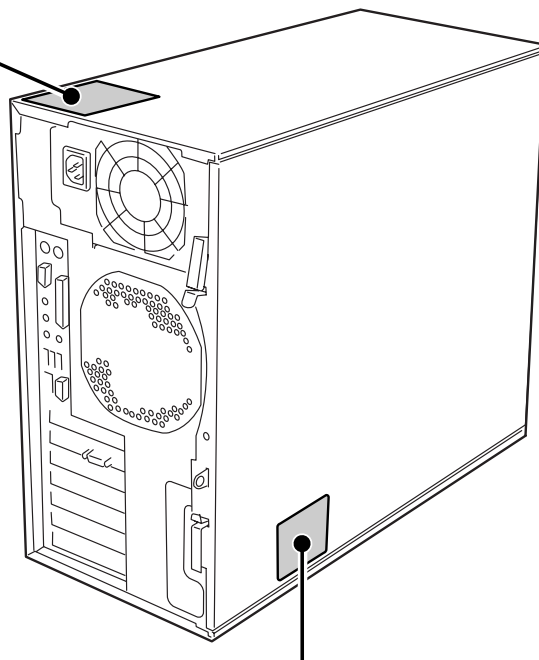
警告ラベルについて

本装置内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これは本装置を取り扱う際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できないときは販売店にご連絡ください。

重量物注意
WARNING:
HEAVY ITEM

ざっくり腰や落下事故防止のため移動のさいは2人以上で行って下さい。

To avoid the risk of personal injury or damage to the unit, move the unit with at least two or more people.



注意 CAUTION

<p>オプションの取付け、取外し時は電源プラグをコンセントから抜き、外部装置と接続しているケーブルを外して下さい。 Disconnect all AC power cords from both system and external peripherals prior to installing/removing options.</p>	 電源プラグを抜く	 感電注意
<p>ネジは本体内部へ落とさない様、十分ご注意下さい。 Do not drop any screws inside the system.</p>		
<p>ボード及びオプション機器の接続の際は、必ずユーザーズガイドを参照し、正しく接続して下さい。 誤った接続は、故障や火災の原因となります。 Refer to the "User's Guide" when option board or peripherals are installed. Incorrect installations may result in damage to the system and lead to accidents.</p>		
<p>指をはさんだり、ぶつけたりしないように注意して下さい。 To avoid the risk of personal injury, be careful when accessing the inside of the system.</p>		
<p>装置の持ち上げ、移動の際は、装置の底面をしっかりと持ち上げて下さい。 Firmly hold the bottom of the system when required to lift and carry the system.</p>		

取り扱い上のご注意 ～装置を正しく動作させるために～

本装置を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると本装置の誤動作や故障の原因となります。

- 本装置が正常に動作できる場所に設置してください。詳しくは64ページを参照してください。
- 本装置専用の保守用パーティションがOSから見える場合がありますが、この保守用パーティションを削除しないでください。
- 周辺機器へのケーブルの接続/取り外しは本装置の電源がOFFになっていることを確認してから行ってください。
- AC入力電圧が100Vのコンセントに添付の電源コードを接続してください。
- 電源のOFFやフロッピーディスクの取り出しは、本装置のアクセスランプが消灯していることを確認してから行ってください。
- 本装置の電源を一度OFFにした後、再びONにするときは10秒以上経過してからにしてください。
- 本装置を移動する前に電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 定期的には本装置を清掃してください(清掃は201ページで説明しています)。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。
- 本装置は、CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクにつきましては、CD再生機器における再生の保証はいたしかねます。
- CD-ROMドライブや5.25インチドライブ、3.5インチドライブに取り付けるオプションは、ソフトウェアのコマンドからトレイまたはメディアをイジェクトできる場合があります。ソフトウェアからイジェクトする場合は、フロントドアが開いていることを確認してからコマンドを実行してください。フロントドアを閉じたままコマンドを実行するとフロントドアにトレイやメディアがぶつかリイジェクトできず、エラーが起きるだけでなく、装置自身の故障の原因となります。
- 落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として無停電電源装置等(UPS)を使用することをお勧めします。
- オプションは本装置に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ本装置に取り付け/接続できても正常に動作しないばかりか、本体が故障することがあります。
- オプションはNECの純正品をお使いになることをお勧めします。他社製のメモリやハードディスクには本装置に対応したものもありますが、これらの製品が原因によって起きた故障や破損についての修理は保証期間中でも有料となります。



保守サービスについて

本装置の保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。

本装置をいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

健康を損なわないためのアドバイス

コンピュータ機器を長時間連続して使用すると、身体の各部に異常が起こることがあります。コンピュータを使用するときは、主に次の点に注意して身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

よい作業姿勢で

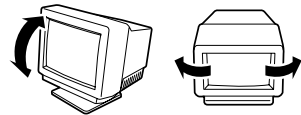
コンピュータを使用するときの基本的な姿勢は、背筋を伸ばして椅子にすわり、キーボードを両手と床がほぼ平行になるような高さに置き、視線が目の高さよりもやや下向きに画面に注がれているという姿勢です。『よい作業姿勢』とはこの基本的な姿勢をとったとき、身体のどの部分にも余分な力が入っていない、つまり緊張している筋肉がもっとも少ない姿勢のことです。

『悪い作業姿勢』、たとえば背中を丸めたかっこうやディスプレイ装置の画面に顔を近づけたままの状態で行うと、疲労の原因や視力低下の原因となることがあります。



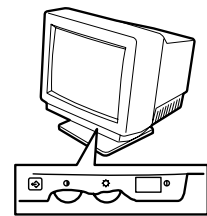
ディスプレイの角度を調節する

ディスプレイの多くは上下、左右の角度調節ができるようになっています。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくしたりするためにディスプレイの角度を調節することは、たいへん重要です。角度調節をせずに見づらい角度のまま作業を行うと『よい作業姿勢』を保てなくなりすぐに疲労してしまいます。ご使用前にディスプレイを見やすいよう角度を調整してください。



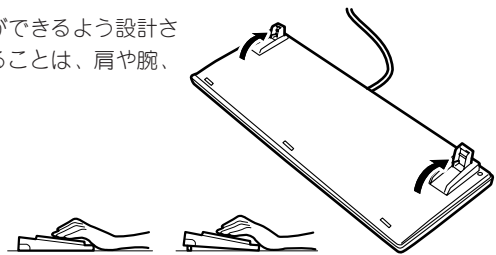
画面の明るさ・コントラストを調節する

ディスプレイは明るさ(ブライトネス)・コントラストを調節できる機能を持っています。年齢や個人差、まわりの明るさなどによって、画面の最適なブライトネス・コントラストは異なりますので、状況に応じて画面を見やすいように調節してください。画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると目に悪影響をもたらします。



キーボードの角度を調節する

本装置に添付されているキーボードは、角度を変えることができるよう設計されています。入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕、指への負担を軽減するのにたいへん有効です。



機器の清掃をする

機器をきれいに保つことは、美観の面からだけでなく、機能や安全上の観点からも大切です。特にディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると、表示内容が見にくくなりますので定期的に清掃する必要があります。

疲れたら休む

疲れを感じたら手を休め、軽い体操をするなど、気分転換をはかることをお勧めします。



はじめに

このたびは、NECのExpressワークステーションをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

NEC Expressワークステーションは、強力なパワーと最新のアーキテクチャを採用した次世代を担うコンピュータです。そのポテンシャルはクライアントサーバシステムを構築するワークステーションPCとしても十分な能力を持ち、高速な処理と高い信頼性を提供します。

Expressワークステーションの持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。

本書について




本書は、本装置を正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。本装置のセットアップを行うときや日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは取り扱いの上の安全性を含めてご利用ください。

本書は常に本装置のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、Windows XPやWindows 2000などのオペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザーを対象として記載されています。

本書の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

 重要	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
 チェック	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

本書の購入について

本書を購入したい場合は、最寄りの販売店またはお買い求めの販売店に品名と型名を次のように指定してお申し込みください。

- 品名 Express5800/56Xb ユーザーズガイド
- 型名 UL9020-00G

また、ユーザーズガイドおよび添付のCD-ROMに納められているオンラインドキュメントの一部は、Express5800シリーズのホームページからダウンロードすることができます。

<http://nec8.com/>

本書の構成について

本書は4つの編から構成されています。それぞれの編では次のような説明が記載されています。なお、巻末には索引があります。必要に応じてご活用ください。



「使用上のご注意」をはじめにご覧ください

本編をお読みになる前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」をお読みください。「使用上のご注意」では、本装置を安全に、正しくお使いになるために大切な注意事項が記載されています。

- 第1編 導入編** 本装置を導入するにあたり知っておいていただきたい情報とお使いになれるまでのセットアップの手順について説明しています。ここで説明する内容や手順を守って正しく本装置をお使いになるシステム環境へ導入してください。
- 第2編 ハードウェア編** 本装置のハードウェアに関する説明をしています。各部の名称やその機能、オプションの増設方法、本装置にふさわしい設置場所について知りたいときに参照してください。
- 第3編 ソフトウェア編** 本装置に添付のソフトウェアについてその機能やインストール方法について説明しています。ここで説明する内容に従って正しくお使いください。
- 第4編 運用・保守編** 本装置を運用する上で知っておいていただきたい情報が記載されています。また、「故障かな?」と思ったときは、本装置の故障を疑う前にまずここを参照してください。

本書に記載の「CD-ROMドライブ」について

本装置には購入時のオーダーによって以下のドライブが標準で装備されています。本書ではこれらのドライブを「CD-ROMドライブ」と記載しています。

- CD-ROMドライブ
- CD-R/RWドライブ
- DVD-ROMドライブ
- CD-R/RW with DVD-ROM
- DVD-Multiドライブ

ドライブのソフトウェア上の操作(例えばCD-Rへの書き込みなど)については本装置に添付されている別冊の説明書を参照してください。

なお、CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクにつきましては、CD再生機器における再生の保証はいたしかねます。

付属品の確認

本装置の梱包箱の中には、装置本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成表を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



付属品について

- 添付品はセットアップをするときやオプションの増設、本装置が故障したときに必要となりますので大切に保管してください。
- 添付品の「EXPRESSBUILDER」は、紙封筒に包装されています。パッケージの構成については、封筒内にある「EXPRESSBUILDER」の構成表を参照してください。また、EXPRESSBUILDER CD-ROMを紛失し、再購入を希望される場合は、販売店へお問い合わせください。
- オペレーティングシステムに添付のソフトウェア登録カードなどは、所定事項をご記入の上、必ず投函してください。
- フロッピーディスクが添付されている場合は、フロッピーディスクのバックアップをとってください。また、添付のディスクをマスタディスクとして大切に保管し、バックアップディスクを使用してください。
- 添付のフロッピーディスクまたはCD-ROMは、使用方法を誤るとお客様のシステム環境を変更してしまうおそれがあります。使用についてご不明な点がある場合は、無理な操作をせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

第三者への譲渡について

本体または本体に添付されているものを第三者に譲渡（または売却）するときは、次の注意を守ってください。

● 本体について

本装置を第三者へ譲渡（または売却）する場合には、本書を一緒にお渡しください。



ハードディスク内のデータについて

譲渡する装置内に搭載されているハードディスクに保存されている大切なデータ（例えば顧客情報や企業の経理情報など）が第三者へ漏洩することのないようにお客様の責任において確実に処分してください。

WindowsやLinuxなどのオペレーティングシステムの「ゴミ箱を空にする」操作やオペレーティングシステムの「フォーマット」コマンドでは見た目は消去されたように見えますが、実際のデータはハードディスクに書き込まれたままの状態にあります。完全に消去されていないデータは、特殊なソフトウェアにより復元され、予期せぬ用途に転用されるおそれがあります。

このようなトラブルを回避するために市販の消去用ソフトウェア（有償）またはサービス（有償）を利用し、確実にデータを処分することを強くお勧めします。データの消去についての詳細は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

なお、データの処分をしないまま、譲渡（または売却）し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

● 添付のソフトウェアについて

本装置に添付のソフトウェアを第三者に譲渡（売却）する場合には、以下の条件を満たす必要があります。

- 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと
- 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、インストールした装置から削除した後、譲渡すること

消耗品・装置の廃棄について

- 本装置およびハードディスクドライブ、フロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブやオプションのボードなどの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。



- 本装置のマザーボード上にあるバッテリーの廃棄(および交換)についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。
- ハードディスクやバックアップデータカートリッジ、フロッピーディスク、その他書き込み可能なメディア(CD-R/CD-RWなど)に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要です。

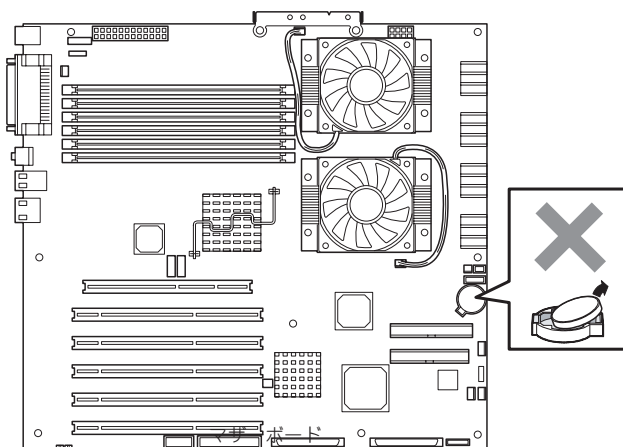
- 本装置の部品の中には、寿命により交換が必要なものがあります(装置ファン、装置内蔵のバッテリー、内蔵CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブ、マウスなど)。装置を安定して稼働させるために、これらの部品を定期的に交換することをお勧めします。交換や寿命については、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。



リチウム電池を取り外さない

本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。リチウム電池を取り外さないでください。リチウム電池を火に近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、リチウム電池の寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。



目次

⚠ 使用上のご注意 ～必ずお読みください～	iii
安全にかかわる表示について	iii
本書、および警告ラベルで使用する記号とその内容	iv
安全上のご注意	v
一般的な注意事項	v
電源・電源コードに関する注意事項	vi
設置・移動・保管・接続に関する注意事項	vii
お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項	viii
運用中の注意事項	ix
警告ラベルについて	x
取り扱い上のご注意 ～装置を正しく動作させるために～	xi
はじめに	xiii
本書について	xiii
本書の記号について	xiii
本書の購入について	xiv
本書の構成について	xiv
本書に記載の「CD-ROMドライブ」について	xv
付属品の確認	xvi
第三者への譲渡について	xvii
消耗品・装置の廃棄について	xviii

1 導入編

知っておきたいこと	2
装置外観	2
特長	3
導入のポイント	6
システム構築のポイント	6
電源を入れる前に	6
購入時のハードディスクの状態と保守用パーティション	10
メモリの縮退機能	10
CPUの縮退機能	11
ネットワーク構築のポイント	11
UPS接続時のポイント	11
ストレージ機能構築のポイント	12
お客様登録	13
セットアップ	14
1 ハードウェアのセットアップ	14
2 オペレーティングシステムのセットアップ	15
セットアップの手順	15
デバイスドライバ(本体標準装備)のセットアップ	17
システムのアップデート ～Service Packの適用～	21
3 内蔵デバイスの取り付け/周辺機器の接続	24

4 障害処理のためのセットアップ	25
メモリダンプ(デバッグ情報)の設定	25
ワトソン博士の設定	31
5 管理ユーティリティのインストール	32
6 システム情報のバックアップ	32
再セットアップ	33
Windows XPの再セットアップ ～シームレスセットアップ～	33
OSのインストールについて	34
セットアップの流れ	38
セットアップの手順	39
Windows 2000の再セットアップ ～シームレスセットアップ～	44
OSのインストールについて	45
セットアップの流れ	48
セットアップの手順	49
応用セットアップ	54
シームレスセットアップ未対応の大容量記憶装置コントローラを利用する場合	54
マニュアルセットアップ	55

2 ハードウェア 編

各部の名称と機能	58
装置前面	58
装置前面(フロントドアを開いた状態)	59
装置背面	60
装置内部	61
マザーボード	61
ランプ表示	62
POWERランプ	62
DISKアクセスランプ	62
SLEEPランプ	62
1000/100/10ランプ	63
LINK/ACTランプ	63
設置と接続	64
設 置	64
接 続	67
本体前面	68
本体背面	69
基本的な操作	70
電源のON	70
POSTのチェック	71
POSTの流れ	71
POSTのエラーメッセージ	73
電源のOFF	73
省電力モードの起動	74
フロッピーディスクドライブ	75
フロッピーディスクのセット/取り出し	75
フロッピーディスクの取り扱い	75
CD-ROMドライブ	77
使用上の注意	77
ディスクのセット/取り出し	79
ディスクの取り扱い	80

内蔵オプションの取り付け	82
安全上のご注意	82
静電気について	83
取り付け/取り外しの準備	84
取り付け/取り外しの手順	84
レフトサイドカバー	84
フロントマスク	86
3.5インチハードディスク	87
PCIボード/AGPボード(グラフィックスアクセラレータ)	90
プロセッサ(CPU)	93
DIMM	97
5.25インチデバイス	100
K410-49(01)内蔵SCSIケーブル	104
ケーブル接続	108
インタフェースケーブル	108
フロッピーディスクドライブ・CD-ROMドライブ	109
ハードディスクドライブ(SCSIハードディスクモデル)	109
ハードディスクドライブ(IDEハードディスクモデル)	110
5.25インチデバイス(IDE)	111
5.25インチデバイス(SCSI)	113
5.25インチデバイス(SCSI/IDE)	113
電源ケーブル	114
BIOSのセットアップ	115
システムBIOS ～SETUP～	115
起 動	116
キーと画面の説明	117
設定例	118
パラメータと説明	120
SCSI BIOS ～SCSISelect～	141
SCSISelectユーティリティの用途	141
マザーボード内蔵のコントローラに対する設定	141
オプションボードのコントローラに対する設定	148
リセットとクリア	149
リセット	149
強制シャットダウン	149
CMOSのクリア	150
割り込みラインとI/Oポートアドレス	151

3 ソフトウェア 編

添付のCD-ROMについて	154
EXPRESSBUILDER	155
起動メニューについて	155
EXPRESSBUILDERトップメニュー	156
起 動	156
シームレスセットアップ	157
ツールメニュー	157
マスターコントロールメニュー	161

ExpressPicnic.....	162
ExpressPicnicのインストール	162
Windows Server 2003・Windows 2000/XP・Windows NT 4.0・	
Windows 95/98/Me	162
Windows NT 3.51	163
セットアップパラメータFDの作成	164
追加アプリケーションのインストール	166
オプションの大容量記憶装置ドライバのインストール	167
稼動機からの情報採取	168
大量インストール	169
Express本体用バンドルソフトウェア	170
ESMPRO/ServerAgent (Windows版)	170
インストール前の準備	170
インストール	171
インストール後の確認	171
テープ監視ツール	172
カスタムインストールモデルでのセットアップ	172
手動インストール(新規インストール)	172
エクスペレス通報サービス	175
インストール済みのエクスペレス通報サービスのセットアップ	175
手動インストール(新規インストール)	176
ESMPRO/UPSController Ver.2.1	178
インストール済みのESMPRO/UPSControllerのセットアップ	178
新規インストール	180
PowerChute <i>plus</i> Ver.5.11J/5.2J.....	181
インストール済みのPowerChute <i>plus</i> のセットアップ	181
新規インストール	182
管理PC用バンドルソフトウェア	183
ディスクアレイソフトウェア	184
Global Array Manager Server	185
カスタムインストールモデルでのセットアップ	185
シームレスセットアップを使ったセットアップ	185
手動インストール(新規インストール)	186
Global Array Manager Client	188
カスタムインストールモデルでのセットアップ	188
シームレスセットアップを使ったセットアップ	188
手動インストール(新規インストール)	188
自動クリーンアップツール	191
カスタムインストールモデルでのセットアップ	191
シームレスセットアップを使ったセットアップ	191
手動インストール(新規インストール)	192
Array Recovery Tool.....	193
Power Console Plus(サーバ)	194
カスタムインストールモデルでのセットアップ	194
シームレスセットアップを使ったセットアップ	194
手動インストール(新規インストール)	194
Power Console Plus(管理PC)	196
Power Console Plus(管理PC)をインストールする前に	196
Power Console Plus(管理PC)のインストール手順	196
Power Console Plus(管理PC)の環境設定	197

4 運用・保守編

日常の保守	200
アラートの確認	200
バックアップ	200
クリーニング	201
本体のクリーニング	201
キーボード／機械式マウスのクリーニング	202
CD-ROMのクリーニング	203
システム診断	204
システム診断の内容	204
システム診断の起動と終了	204
障害時の対処	207
障害箇所の切り分け	207
エラーメッセージ	208
POST中のエラーメッセージ	208
Windows XP/Windows 2000のエラーメッセージ	212
管理アプリケーションからのエラーメッセージ	212
トラブルシューティング	213
本装置について	213
Windowsについて	218
CD-RWについて	223
EXPRESSBUILDERについて	227
シームレスセットアップについて	228
マスターコントロールメニューについて	232
ExpressPicnicについて	233
ESMPROについて	233
障害情報の採取	234
イベントログの採取	234
構成情報の採取	236
ワトソン博士の診断情報の採取	237
メモリダンプの採取	237
NVRAMの情報の採取	238
システムの修復	239
修復手順 ～Windows XP～	239
修復手順 ～Windows 2000～	239
オフライン保守ユーティリティ	242
オフライン保守ユーティリティの起動方法	242
オフライン保守ユーティリティの機能	243
移動と保管	244
ユーザーサポート	245
保証について	245
修理に出される前に	246
修理に出される時は	246
補修用部品について	246
保守サービスについて	247
情報サービスについて	248
付録 保守サービス会社網一覧	249
索引	253

オンラインドキュメントについて

添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMには次のオンラインドキュメントが収められています。必要に応じてEXPRESSBUILDERのマスターコントロールメニュー(161ページ)から参照してください。

- ユーザーズガイド
- Windows XP Professionalインストールサブリメントガイド*
- Windows 2000 Professionalインストールサブリメントガイド*
- ESMPRO/ServerAgent (Windows版) インストールガイド
- ESMPRO/ServerManagerインストールガイド
- Power Console Plusユーザーズガイド
- RAID EzAssistオペレーションガイド
- Global Array Manager Serverインストールガイド
- Global Array Manager Clientインストールガイド
- Global Array Managerオペレーションガイド
- 自動クリーンアップツールインストールガイド
- Array Recovery Toolインストールガイド
- テープ監視ツールセットアップガイド
- エクスプレス通報サービスインストールガイド

* 保守用パーティションを作成しないでインストールするなど、特殊なケースのときに参照してください。
通常はシームレスセットアップにてインストールされることをお勧めします。